

■パブリックコメント手続のご意見について
【五條市学校適正化基本計画(案)及び五條市立認定こども園整備基本計画(案)】

1)パブリックコメント手続の概要

○募集期間 : 平成30年1月26日(金)～平成30年2月23日(金) 29日間

○閲覧場所 : 五條市のホームページ、子ども未来課、児童福祉課、西吉野・大塔支所、中央公民館、市内各公立小中学校及び
各幼稚園・保育所(園)

○提出方法 : 郵送、FAX、電子メール、持参

2)意見書提出者数

57 名

3)意見総数(同様の意見は集約しています)

五條市学校適正化基本計画(案): 78 件 五條市立認定こども園整備基本計画(案): 7 件

①資料の閲覧・配布等について

No.	提出された意見等	提出された意見に対する考え方
1	基本計画(案)を各戸に配布してほしい。	<p>両基本計画(案)につきましては、パブリックコメント手続期間中は市役所本庁、教育委員会事務局、各支所、中央公民館、市内幼稚園、保育所(園)、各公立小学校・中学校において閲覧用資料を設置しました。五條市のホームページで現在も掲載しています。また、両基本計画(案)の概要版につきましては、2月15日、16日、18日の説明会の当日に配布しました。</p> <p>なお、基本計画が決定しましたら、五條市のホームページまたは学校を通じてお知らせする予定です。</p>
2	資料の閲覧・案内の掲載が分かりにくい。	<p>両基本計画(案)の閲覧につきましては、パブリックコメント手続期間中は市内各施設において公表場所を設置していました。現在においても五條市のホームページで掲載しています。</p> <p>資料の閲覧・案内につきましては、広報五條、五條市ホームページ、市内の幼稚園、保育所(園)、各公立小学校・中学校、自治会回覧を通じてご案内しました。</p> <p>今後、資料の内容の閲覧などの周知については、より分かりやすいように検討をします。</p>
3	公表場所の資料の閲覧が利用しづらい。	<p>資料の閲覧については、施設の開設時間等の状況に合わせて行ったところですが、時間外の場合は、五條市のホームページで閲覧できるようにしていますので、ご理解をお願いします。</p>

4	ホームページ上で意見を書けるようにしてほしい。	市のホームページ(お問い合わせフォーム)で意見を記入できるようにしており、実際に市のホームページ上からご意見を提出された方もおられますのでご利用ください。
---	-------------------------	---

②市民向け説明会について

No.	提出された意見等	提出された意見に対する考え方
1	なぜ地域別の説明会を開催しないのか。2月の説明会だけで終わってしまうのではなく、住民、保護者、子どもたちの意見を聞く場も設けてほしい。	今後、統合に向けてのより具体的な事項については学校統合協議会を発足し協議することとなりますが、五條市学校適正化基本計画(案)を示した後、統合を早く実施する学校から説明会の機会を持つこととしています。
2	第1段階で統合する学校区を対象に説明会を開催してほしい。	統合により学校が変わる地域につきましては、適正化を早く進める学校から順に説明会の開催を予定しています。
3	統合は仕方ないと考えるが、それに向けての細かな計画や内容の説明がほしい。	統合に関しましては、今後お示しする五條市学校適正化基本計画のスケジュールに合わせ進めます。基本計画策定後、学校として決める項目を除き統合校ごとに「学校統合協議会」を発足させ、協議します。決定した内容を保護者や地域の方々に報告する予定です。

4	特別支援の子どもの保護者には個別に説明してしてくれる場をつくってほしい。	学校適正化により、通学も含め環境が変わってきます。それぞれの事情に合わせてきめ細かい対応が必要になりますので就学指導の際に相談ができる体制がとれるよう検討していきます。
---	--------------------------------------	--

③パブリックコメント手続について

No.	提出された意見等	提出された意見に対する考え方
1	今年の3月に計画を策定するとしているが、あまりに早すぎる。基本計画(案)をもっと早くから開示するべきだった。	当初、この両基本計画(案)を1月に提示するスケジュールを進めていました。その後、3月に基本計画策定の予定をしていましたが、さらに説明会を開催することになったことから、5月以降に計画を策定する予定で検討を進めています。
2	公表の期間や締め切りが短いと思う。	奈良県等行政で行われている一般的な期間として設定しました。ご理解をお願いします。
3	なぜパブリックコメントを実施するのか。	両基本計画(案)の段階で、公正性の確保及び透明性の向上を図るため、その趣旨、目的、内容等を公表し、広く市民からの意見を求めるため、パブリックコメント手続を実施しました。

④スクールバス等通学について

No.	提出された意見等	提出された意見に対する考え方
1	<p>スクールバスはどのようなルートを考えているのか。現在、小学校まで4km、中学校6kmを超える地域もあるので検討してほしい。</p>	<p>五條市では新たにスクールバスまたはタクシーを運行する場合、統合により学校までおおむね小学校3km、中学校6km以上の通学距離がある地区を対象とします。運行コースについては、基本的に幹線道路を中心に乗降場所を設定する方針です。具体的な運行コース、乗降場所については、学校統合協議会で保護者の方々からのご意見をいただきながら協議を進めていきます。</p>
2	<p>統合先の駐車場の確保はどのように考えているのか。</p>	<p>これまで開催した意見交換会の中でも一部の学校からご指摘を受けています。スクールバスの乗降場所としての駐車場は、使用する校舎近隣の安全な場所を確保するよう検討を進めます。</p>
3	<p>自転車通学の生徒が増えると思うので駐輪場の確保も考えてほしい。</p>	<p>学校統合協議会において、生徒に対して通学方法の意向調査を行い、必要に応じて駐輪場の設置・増設を検討していきます。</p>

⑤跡地利用について

No.	提出された意見等	提出された意見に対する考え方
1	阿太小学校は大学の拠点施設・公民館となっているが両方か。	両方の施設を考えています。公民館については、地域住民のクラブ・サークル活動の利用や憩いの場などとして、地域の方々の要望も聞かせていただき、活用する予定です。
2	阿太小学校に入る大学はどこか。いつから研究が始まるのか。	現在のところ、奈良教育大学が学生を対象とした講座などの活用を予定しています。五條市学校適正化基本計画(案)では、阿太小学校が統合される平成31年から使用する計画としています。
3	北宇智小学校は丘の上にあるので、近隣の人たちがいなくてさびしい場所にある。認定こども園になった場合、夜遅くなると防犯面で子ども達、先生方の安全について不安がある。	北宇智小学校跡地を利活用する場合は、警察や地域の方々などと連携し、安全対策の強化を図り、不安解消に努めていきたいと考えています。
4	公民館と認定こども園を併設する案について子どもの安全面について不安がある。	公民館と認定こども園を併設する場合は、出入り口や活動の場が重ならないように安全面を優先した改修を考えていきます。なお、公民館は地域と密着した施設ですので、今後地域の方々と話合っていきたいと考えています。

⑥教育内容等について

No.	提出された意見等	提出された意見に対する考え方
1	<p>大人数になれば子どもの多様な考えを養っていくこともできるが、少人数教育による人間関係の深さや細やかさ、一人一人の確かな基礎学力を養っていくことが大切である。</p>	<p>ご意見のとおり、少人数の人間関係の深さや細やかさ等、良い点もあります。今後策定する五條市学校適正化基本計画では、こうした少人数教育のメリットを生かすため、小学校では低学年を30人学級とする等、少人数指導の良さを取り入れていく方針です。</p>
2	<p>施設一体型の小中学校で教師を1か所にまとめることで多角的な指導を行うことが出来る。また、教師が集まることにより、教科担任の配置や部活動も柔軟にできるうえ、施設設備の無駄を省くこともできる。</p>	<p>ご指摘のように、施設一体型の学校づくりも多くのメリットがあります。しかし、計画では現有施設の有効利用の観点からも施設分離型の小中一貫教育として進めていきたいと考えています。</p>
3	<p>特別支援を必要とする児童・生徒を1か所にまとめるのではなく、先生を加配したり、支援を必要とする児童・生徒の保護者の意見を聞き話し合い、納得のいく学習方法にしてほしい。 また、カウンセラーを全小中学校に配置してほしい。</p>	<p>特別支援学級における教員の配置は、障害の種別ごとに6～8名につき、1名の配置基準となっています。現在五條市では、特別支援学級で指導することを基本とし、個々にとってより有効な指導に努めています。引き続き、保護者と連携し、支援の充実に努めていきます。学校カウンセラーについては、中学校区に配置する予定で検討を進めていきます。</p>
4	<p>体育大会等の開催時期について、現在は地域によって異なるがどうなるのか。</p>	<p>体育大会等の開催時期については、今後発足する学校統合協議会等、保護者、地域代表の方々の意見もいただきながら学校が決めていくこととなります。</p>
5	<p>部活動について、統合以前から統合予定の学校同士でチームを組むなどして、子どもたちの精神面でのフォローをしてほしい。</p>	<p>子ども達の部活動に対する意欲を高め、成果のある部活動となるよう学校間の連携を大切にして運営していきたいと考えています。そのためにもスムーズに統合が図られるようご理解をいただきたいと考えています。</p>

6	学校が統合された場合、調査書(内申点)の付け方はどう変わるのか。	統合によって調査書の付け方が変わるものではありません。学習成績は第2学年と第3学年(1学期・2学期)の成績を基に作成されます。調査書についての情報は奈良県教育委員会のホームページ※に掲載されています。 ※「平成30年度奈良県立高等学校入学者選抜実施要項」
7	認定こども園の整備について賛成。 就学前から就学後までを見据え、一貫性のある教育・保育の提供の重要性について、具体的な内容をどのように考えているのか。	認定こども園は幼稚園、保育所の両方の良さを兼ね備えた施設です。本市では幼稚園と保育所を認定こども園として整備することにより、幼児期の教育・保育内容の充実を目指します。それを踏まえ、教育内容の情報共有などにより、小学校への円滑な接続に向けた取組を進めることとしています。

⑦地域とのつながりについて

No.	提出された意見等	提出された意見に対する考え方
1	学校が統廃合され、中学校が居住区から離れたところに移ってしまうと過疎化がより進むのではないか。	地域から学校がなくなることについては、見直すべきではないかという旨の意見をいただいています。 しかし、説明会や意見交換会でご説明しましたように、中学校教育の一層の充実発展を図るためにも、統合を未来志向で考えていただきたいと考えています。
2	地域の方々とのつながりが無くならないように、統合しても伝統行事を継続してほしい。	五條市学校適正化検討委員会の「答申」でも出されていますように、五條のよさ(歴史・自然・伝統文化等)を重視した「ふるさと学習」などを取り入れていきます。 統合後も各校区(地域)での伝統行事への積極的な参加も重視していきます。

⑧立地・配置について

No.	提出された意見等	提出された意見に対する考え方
1	五條A学園に3校ある小学校のそれぞれに中学校を併設させ、B学園の施設も一体化すれば、市内に4校の充実した教育施設にできるのではないか。	市内に4中学校となれば、10年後には五條西中学校を除いて全ての学校で1学年につき1学級となり、再度、再編の協議が必要となってきます。五條市学校適正化基本計画では10年、20年先の児童生徒数を見通して提案をしていることにご理解をお願いします。
2	近くて通学に安心できて、少人数での学校生活は仲間づくりもできない。	集団の中で、多様な考え方に触れ、協力し合い、切磋琢磨することを通じて一人一人の資質や能力を伸ばしていくという学校の特質を踏まえれば、よりよい教育環境を実現するためには、一定の集団を確保することが重要と考えています。
3	現状では部活動の選択肢がない。	学校適正化によって、一定規模の生徒の人数確保、また、教員配置の条件を整えて、部活動の選択肢を増やせるように努めていきたいと考えています。
4	少々通学の距離が延びようとも、多くの生徒が通う活気のある学校で学ばせてあげたい。	学校適正化によって、学級数は小学校低学年(小1～小3)は30人学級、小学校高学年(小4～小6)は35人学級、中学校では40人学級となるように立地配置を考えています。多くの児童生徒の中で活気があふれ互いに切磋琢磨し、学習等の活動が行えるように進めていきます。

5	この基本計画を実現してほしい。学校適正化によって一定規模を確保することは必要と考える。	五條市学校適正化基本計画の実施を実現していくために、これから進めようとする学校適正化について、多くの市民の理解が得られるよう努力していきます。
6	A学園は将来的に施設一体型の小中一貫校を建設できるように検討するべきと考える。	五條市学校適正化基本計画(案)でのA学園は1中学校3小学校の施設分離型の小中一貫校を提案し既存施設を活用することとしていますが、今後の状況を踏まえながら、検討を進めていきます。
7	中学校は五條中学校に吸収統合されるのか。対等統合にしてほしい。	3校の統合については、対等な立場での統合と考えています。そのため、学校や学校統合協議会で検討を進めることとなります。
8	文部科学省は学校選択制も示しているが、なぜ五條市は学校適正化の統合にしたのか。	五條市の地域とのつながりや地理的な状況により、学校選択制の導入は考えていません。学校選択制を採用すれば学校区に大きな学校運営上の課題が生じることを懸念しています。
9	学校選択制も踏まえての住民と児童生徒へのアンケートを実施してほしい。 校区割をやめて希望の小学校を選択できるようにしてはどうか。	学校選択制とは、住んでいる住所に関わらず市内の学校を選択できる制度のことですが、五條市の地域とのつながりや地理的な状況により、導入は考えていません。ご理解いただきますようお願いいたします。

10	阪合部小を小規模特認校として残してはどうか。	多くの学校が小規模校の五條市では、小規模特認校を置くことで他の学校で適正な学校規模が維持できなくなり、教職員配置の面においても不利益が生じるおそれがあります。五條市学校適正化基本計画(案)にありますように、児童数の確保、小学校への通学時間や施設の活用を考慮し、野原小、阪合部小、西吉野小での統合としました。ご理解をいただきますようお願いします。
11	複式学級の学校について速やかな対策がなされるべきと考える。	五條市学校適正化基本計画(案)のスケジュールでは、複式学級設置の阿太小、阪合部小を第1段階として、できるだけ早く統合する方針で進めていきます。
12	吉野川を境に北部と南部に小中一体校を新設してほしい。	施設一体型の小中一貫校を2校新設することについては、現在の五條市の状況から考えると非常に難しい状況にあります。また、吉野川を境にした場合、生徒の人数に大きな差が生じます。ご理解いただきますようお願いします。
13	小学校が無くなれば過疎化により格差ができる。小学校の存続を望む。	人口減少により、児童の数も減少しています。五條市としては、学校を一定規模の集団の中で、多様な教育を行っていきたいと考えています。ご理解をいただきますようお願いします。
14	校区が広がる中学校と校区が狭い中学校で生徒、教員の負担が違い過ぎる。校区を再検討するべきではないか。	ご指摘のとおり、広い校区では家庭訪問ひとつを例にとっても、移動が広範囲となり負担が大きくなります。一方、狭い校区は移動時間は短時間となり負担は少なくなります。しかし、教員の負担は校区の広さ、狭さだけではなく、生徒指導、学習指導、進路指導、生活指導等が影響しますので、課題等の状況をみて教員の加配などで対応していきます。

15	最終的に中学校を1校、小学校を2校にしてはどうか。	今後の児童生徒数の推移や地理的な問題、受け入れ施設状況、五條市の状況などを考慮した結果、計画では2中学校・4小学校が必要と考えています。しかし、今後、児童生徒数の推移等を踏まえ、検討することも考えられます。
16	牧野地区の学校が残ることになった理由を教えてください。	第2段階において3中学校となりますが、最終段階で2中学校にするときに牧野地区には新興住宅地があり、今後も人口維持(増)が見込まれるため、現状で1学年2～3クラス確保できる牧野小・五條西中をそのまま五條B学園とすることにしました。一方、五條中・五條東中の両校は、野原中・西吉野中と統合しても単独で2クラスを確保することが困難な状況になりますので、この両校を統合して五條A学園中学校とする計画としました。
17	新しい校舎から古い校舎の学校に変わることについて反対である。	使用する校舎は、五條市学校適正化検討委員会の「答申」に基づき児童数や教室数で立地配置を計画しています。その際、教育環境に課題を持つ部分については長寿命化工事や改修工事を行い、教育の質を低下させない条件を整えていきます。あわせて、教育内容と教育技術、教育機器の導入を図っていきます。
18	五條市学校適正化基本計画(案)の学校の統合について、該当児童のいる家庭の多数決で決めてほしい。	将来の五條市を担う子ども達のための学校適正化を進めていますので、多数決で決めることは考えていません。多くの市民にご理解をいただいて、基本計画を策定していきたいと考えています。

19	現在、阿太地区から北宇智保育所に通っているのですが、北宇智小に通わせたい。	お住まいが阿太地区でしたら、五條市学校適正化基本計画(案)では第1段階で宇智小との統合となります。しかし、これまでの経緯もあることから十分ご意見はお聞きして、対応していきます。
----	---------------------------------------	--

⑨統合の時期について

No.	提出された意見等	提出された意見に対する考え方
1	学校適正化が当初の計画より遅れていることに不安を感じる。	平成28年11月に五條市学校適正化基本計画の素案を提示し、住民説明会でのご意見を受け、計画の策定を1年延期し平成30年3月策定のスケジュールとしました。この期間に各地域で意見交換会を開催し、住民の方々からご意見をいただきながら慎重に検討して、五條市学校適正化基本計画(案)を作成しました。ご理解いただきますようお願いいたします。
2	小学校が統合することには賛成だが、段階的に何度も統廃合することについて反対である。子どもたちの環境が変わりすぎて負担が大きくなると思う。	段階的に何度も環境が変わることで不安が生じることは、できる限り避けたいと考えています。そのため、子どもたち同士で交流する機会を多く設けるなど、統合時期を弾力的に捉えることも検討の一つとして考えています。時期が決まれば、速やかに学校統合協議会を設置します。教育活動等について協議し、スムーズな統合となるように進めていきたいと考えています。

3	<p>環境の変化に敏感な子どももいるので、環境を変えることはできるだけ少なくしてあげたい。何度も統合するのではなく、1回で済ませてほしい。</p>	<p>特に環境の変化に敏感な子どもたちにとってできるだけ不安感や心配事を少なくするために、子どもたち同士の交流を担当教員も共に参加し、行うことが大切であると認識しています。できるだけ環境の変化を少なくすることに努めていきたいと考えています。</p>
4	<p>野原中学校と西吉野中学校は1年後に五條中学校と統合することになるが、1年で全ての作業をするのは難しい。十分な準備期間が必要ではないか。</p>	<p>五條市学校適正化基本計画(案)に5年後の児童生徒の人数を記載していますが、1年経過するごとに少なくなっています。人口の減少を考えると、五條市としては、できるだけ早く学校適正化を進めたいと考えています。しかし、スムーズな統合を進めるためには生徒の交流や諸行事の調整が重要であり、期間については学校適正化推進実施委員会で検討していきます。</p>
5	<p>小学校の統合は時間をかけてゆっくりと進めてほしい。</p>	<p>意見交換会等でも説明させていただきましたが、全学年で単学級となっている中学校及び複式学級設置の小学校を1年でも早く解消したいと考えています。当該校の子どもの交流の機会を確保し、教育環境を整備したいと考えていますので、ご理解いただきますようお願いいたします。</p>
6	<p>中学校の統合は仕方ないと思う。</p>	<p>五條市学校適正化検討委員会の答申を踏まえ、生徒数や学級数に配慮しながら、立地配置と統合スケジュールを提示させていただきました。学校適正化を進めていくことに対しまして、ご理解いただきますようお願いいたします。</p>

7	まずはテストや行事ごとを学校同士で進めていき、段階的に統合していく必要があると思う。	五條市学校適正化基本計画が決定すれば、速やかに学校間の調整を進めます。加えて学校統合協議会を立ち上げ、統合校同士の調整を図っていきます。子どもたちの交流につきましては、学校間で情報を交換し、一人一人の子どもが新たな子どもたちや集団になじめるように支援していきます。
8	現場で働いている先生方の負担が増えると思う。現場の声を汲み取った統合にしてほしい。	現場の教職員にも少なからず学校適正化で負担感や不安感を与えることもあります。未来を見据えた五條市の教育改革推進と、子どもたちの教育環境の充実に向け、学校としての意見も聞きながら適正化を進めていきます。
9	統合前に(部活動等)交流を図り、統合後にスムーズな活動が行われるようにしてほしい。	児童・生徒同士の交流を多く実施したいと考えています。詳細については今後協議していきます。
10	北宇智小だけ平成35年の統合となる。なぜこんなに遅い計画なのか。	北宇智小は現在、全学年単学級で平成30年度には15人以下学級が2学年存在します。これにより第2段階(平成33年度以降)の統合対象校となります。状況によっては統合の時期等について地域や学校との協議を進めていきます。
11	統合が決定しているのなら3段階に分けて統合する必要はない。1年でも早く統合して新しい友達関係を作ってあげたい。	スケジュールを3段階としているのは、各学校の児童生徒数の推移や使用する校舎の改修工事などがあるためですが、条件が整えば少しでも早く進めていきたいと考えています。

⑩財政に関することについて

No.	提出された意見等	提出された意見に対する考え方
1	五條中と五條東中が統合した場合、使用する校舎の維持管理費用、スクールバスの経費を比較してどのように変わっていくのか。	統合により、スクールバスの運行等の経費が新たに発生しますが、学校施設を一本化することで効率化が図られ、新たな教育環境を充実させることができると考えています。
2	吉野川を境に北部と南部に小中一体校を新設する場合、その費用はどれくらいかかるのか。	校舎の新設にかかる費用につきましては、校舎の立地場所、仕様等によって変わりますので、現時点で提示することはできません。他市での小中一体校の建設費用を調査した結果、概算となりますが1校あたり約60億円かかっています。

⑪子育て支援に関することについて

No.	提出された意見等	提出された意見に対する考え方
1	北宇智小学校は坂の上であり、道路も狭い。認定こども園にするには不便だと思う。今の北宇智保育所の場所に認定こども園を作れないか。北宇智保育所であれば、体育館も近くにあるし、面積も大きいと思うので、北宇智保育所を建て替えて認定こども園として整備するべきではないか。	五條市立認定こども園整備基本計画(案)では、現在の北宇智小学校跡地に整備をすることとしています。地域からは北宇智保育所を代替地としての要望があることから、今後協議していきたいと考えています。

2	阿太小学校に認定こども園をつくってほしい。	五條市学校適正化基本計画(案)の使用しなくなる施設・敷地の活用案でも記載しているとおり、阿太小学校は大学の拠点施設、公民館を中心に考えています。
3	認定こども園の魅力づくりについて、どのように考えているのか。デンマークで始まった「森のようちえん」は世界的に増えてきており、日本においても国や県、地方自治体も期待を寄せている。五條市で「森のようちえん」に理解をいただき、五條市からも広がっていくことを切に願っている。	公教育・保育における認定こども園の運営にあたっては、地域の方々の協力を得るとともに、他市町村の取組みも参考にしながら「特色」ある園の整備に向けて、進めていきます。
4	現在、阿太保育所が休所状態となっているが今後どのようにしていくのか明示してほしい。	【あんしん福祉部】 今後、使用しなくなる阿太保育所については、施設の状況に合った用途により有効に、かつ地域の活性化に資するよう、その活用方法等を地域の方々や関係機関とともに検討していきます。
5	学童保育の充実はありがたく思っている。子どもの安全を第一に考えた環境作りを希望する。	【あんしん福祉部】 学童保育の環境づくりは、関係機関が連携しながら取り組んでいきたいと考えています。

6	統合後は北宇智の学童保育は無くなるのか。	<p>【あんしん福祉部】 現在の学童保育所はなくなり、統合後の小学校で学童保育が実施されることとなります。</p>
7	学校適正化より先に認定こども園の整備を進めた方が、今後小学校に通う児童、保護者も交流できてよいのではないか。	<p>五條市立認定こども園整備基本計画(案)では、2か所の認定こども園について、学校適正化後の施設を有効に活用することとしています。 学校適正化の推進状況を踏まえ、認定こども園の設置時期も考えながら整備を進めていきます。</p>
8	現在保育所に通わせているが子どもの数が少なく、4年後の認定こども園開設まで不安がある。阪合部小の31年移転を年少組の園児が阪合部保育所を卒園するまで待てないか。	<p>五條市学校適正化基本計画(案)では、平成31年の第1段階において野原小へ統合するスケジュールとなっています。 認定こども園の整備にあたっては、一定の集団規模を確保することにより、就学前教育・保育を実施したいと考えています。 整備後は、教育内容の情報共有や児童の交流の実施など小学校への円滑な接続に向けて取り組んでいきます。</p>
9	五條市に病児保育ができる保育所があれば遠くても通わせたい。	<p>【あんしん福祉部】 病児保育を実施している保育所はありません。 病後児保育を平成30年度から広域利用できるよう検討を進めています。</p>

10	<p>歴史のある五條幼稚園をなくさず、今の場所に建て替え、五條市の他の施設が近くにある中心地に整備すればよい。</p>	<p>五條市立認定こども園整備基本計画(案)では、整備予定の3か所の認定こども園のうち、1か所について現在の五條幼稚園を中心とする場所に整備したいと考えています。</p>
11	<p>五條市の人口数を考えた場合、3か所の認定こども園はいらない。西吉野からは阪合部と五條の距離が変わらないので一本化するべきである。阪合部小の場所に認定こども園を開設しても通いにくいのではないか。</p>	<p>五條市子ども・子育て会議認定こども園設置検討部会の報告に基づき、市北部地域に2園、市南部地域に1園の整備を計画しています。五條市立認定こども園整備基本計画(案)に基づき整備を推進していきたいと考えています。</p>
12	<p>保護者の不安要素の把握と幼稚園、保育所の違いを踏まえた開かれた認定こども園のあり方について考えてほしい。今後、具体的な園運営、職員の考え方、教育・保育方針の一本化に向けた研修を深めて欲しい。</p>	<p>今後、認定こども園の整備にあたり、教育・保育が一本化されたカリキュラムの策定が必要となります。また、具体的な園運営、教育・保育の内容等について職員の研修を深め、有効な認定こども園の設置を目指していきます。</p>
13	<p>学童保育は、五條市学校適正化基本計画が策定されるまで保留されるべきではない。早期に実現してほしい。</p>	<p>【あんしん福祉部】 学童保育は、関係機関が連携して取り組んでいきたいと考えています。五條市学校適正化基本計画が実施されるまで現在の学童保育を継続していきます。</p>

14	夏休みの学童保育の開所時間が9時となっている。親の通勤時間を考えると7時30分から開所できないか。夕方も保育所と同じくらいの時間にしてほしい。	【あんしん福祉部】 ご要望については、保育時間が長時間に及ぶことから運営のあり方等について他市の事例なども参考にしながら検証していきたいと考えています。
----	---	---

⑫統合後の学校生活について

No.	提出された意見等	提出された意見に対する考え方(案)
1	PTAの会費の金額はどうなるのか。	現在、学校によってPTA会費の金額、振込先が異なります。計画策定後に発足する学校統合協議会で協議することとなります。
2	制服や体操着は統合されるとどうなるのか。	標準服、体操着等については、計画策定後に発足する学校統合協議会で各校の意見を取り入れながら決めていくこととなります。移行期間につきましては、統合する学校の保護者のご意見を聞きながら柔軟に対応していきます。
3	制服の買い替えが必要な場合は五條市が負担してくれるのか。	標準服の費用負担については、現時点で検討はしていません。標準服の着用等につきましては、今後発足する学校統合協議会で各校の意見を取り入れながら決めていくこととなります。

4	自転車の購入費用を五條市で補助してほしい。	自転車購入の費用負担については、現時点で検討はしていません。
5	統合先の学校に、今まで一緒だった先生を配置してほしい。	統合により校舎が変わる子どもたちの心理的な負担を少しでも軽減できるように、大変難しい問題ですが、可能な限り人事異動に配慮いただけるよう県へ働きかけていきます。
6	統合する学校の校則はどうするのか。学校によって特色があるため、そこも考慮してくれるのか。 また、修学旅行の行先もどうなるのか。	市内各校は特色のある教育を推進しています。計画策定後に統合する学校間で教育目標や目指す子ども像、年間計画等を作成していくことになります。 また、修学旅行の行き先等につきましても同様に決めることになります。

⑬その他

No.	提出された意見等	提出された意見に対する考え方
1	今回の基本計画(案)は市行政ならびに市議会を挙げて推進に取り組むべきであり、「教育は街づくりに直結していること」を確認して五條市全体で取り組む必要があるのではないかと。	ご指摘のとおり、教育は「まちづくり」に直結していることであり、五條市全体で取り組むものであると考えています。関係各部署とも連携しながら今回の基本計画が今後続く有効な施策になるよう取り組んでいきます。

2	もっと具体的な案を出し、地域住民、児童、保護者を納得させてほしい。	五條市学校適正化基本計画(案)で最終的な小中一貫校の2学園のイメージを提示しています。学校適正化の実施により、学級定数の緩和、空調設備やトイレ等の教育条件の向上、小学校における英語教育など教育内容の充実が期待されます。今後も具体的な内容について、情報を発信していきたいと考えています。
3	母校が無くなることの寂しさも考えてほしい。	母校が無くなることの寂しさ、喪失感を持たれるお気持ちは理解しています。しかし、教育委員会では今の子どもたちの教育環境の充実はもちろん、10年先、20年先を見据えた教育体制を整えていきたいと考えています。ご理解いただきますようお願いいたします。
4	統合することで新しい友人ができるなど、良いこともあると思う。	統合により、人数が増えることで部活動をはじめとする、集団での活動が豊かになってきます。学校生活を通して多くの友人と触れ、多様な考え方を生み出しながら、将来を生き抜く力を育てていきたいと考えています。
5	「答申」を白紙にして五條市全体の「答申」ではなく、地区ごとの「答申」を作成すべきだ。	五條市学校適正化検討委員会の「答申」は五條市全体の将来を見据え、様々な検討を重ねて出されたものです。お住まいの地域のご希望に沿えない部分もあるでしょうが、五條市の将来の教育の姿として実現できるようご理解をお願いします。
6	統合校ごとに担当を決めて、いつでも相談できる体制にされると安心できる。	ご指摘のとおり、統合に向けての課題については相談できる体制が必要と考えています。個別に相談できる体制の確保について努力していきます。